



BOM for Windows Ver.7.0
朝監視 設定ガイド

免責事項

本書に記載された情報は、予告無しに変更される場合があります。セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に関していかなる種類の保証(商用性および特定の目的への適合性の黙示の保証を含みますが、これに限定されません)もいたしません。

セイ・テクノロジーズ株式会社は、本書に含まれた誤謬に関する責任や、本書の提供、履行および使用に関して偶発的または間接的に起こる損害に対して、責任を負わないものとします。

著作権

本書のいかなる部分も、セイ・テクノロジーズ株式会社からの文書による事前の許可なしには、形態または手段を問わず決して複製・配布してはなりません。

本書に記載されている BOM はセイ・テクノロジーズ株式会社の登録商標です。Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及びその他の国における登録商標です。その他会社名、製品名およびサービス名は各社の商標または登録商標です。

なお、本文および図表中では、「™ (Trademark)」、「® (Registered Trademark)」は明記しておりません。

目次

本書について	1
製品表記.....	1
使用方法.....	1
表記規則.....	1
環境説明.....	1
第1章 朝監視とは	1
第2章 朝監視の仕組み	2
第3章 監視設定	3
3.1 “朝監視”設定の読み込み.....	3
3.2 メール通知の設定.....	4
3.3 朝監視通知時刻の設定.....	6
第4章 監視の開始	8
4.1 監視開始.....	8
4.2 送られてくるメッセージ.....	8
4.2.1 状態変化がない場合.....	8
4.2.2 状態変化がある場合.....	8

本書について

製品表記

本書では、以下の製品について略称を使用しております。

正式名称	本マニュアルでの呼称(略称)
BOM for Windows Ver.7.0 SR4	BOM 7.0

使用方法

本書には、BOM 7.0 を使用した朝監視の考え方と詳細な情報と手順が記載されています。

本書を使用するには、Microsoft Windows オペレーティングシステムについての実際的な知識、BOM 7.0 の基本的な知識が必要です。

表記規則

本書では、以下の表記規則を使用しています。

表記	説明
‘参照先’	シングルクォート内(‘ ’)は本マニュアル内、あるいは別のマニュアルの参照を示します。
[ボタン]	角括弧内([と])はボタン名を示します。
<キー>	山括弧(不等号記号)内(<と>)はキーボード入力を示します。

環境説明

本書では、コンピューターの操作には Windows Server 2012 R2 の画面を主に使用しています。

お使いの OS によって操作方法が若干異なる場合がありますが、適宜読み替えてください。

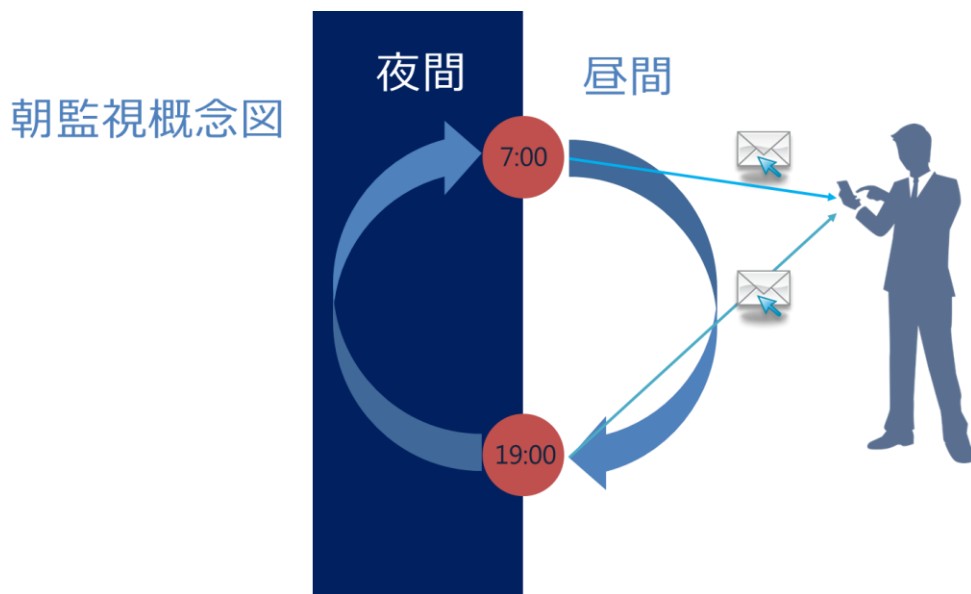
第1章 朝監視とは

従来の障害時の対処に加え、システム管理者は出社してシステムが正常稼働しているかどうかを確認することがあります。それを弊社では“朝監視”と呼んでいます。管理者は前日退社してから出社するまでの期間にサーバーがどのような状態にあったか、今の状態がどうかを把握する必要があります。

朝監視によってシステム管理者が、退社後のシステム状態の変化を事前に把握する事ができていれば、安心して業務に取り組む事ができます。

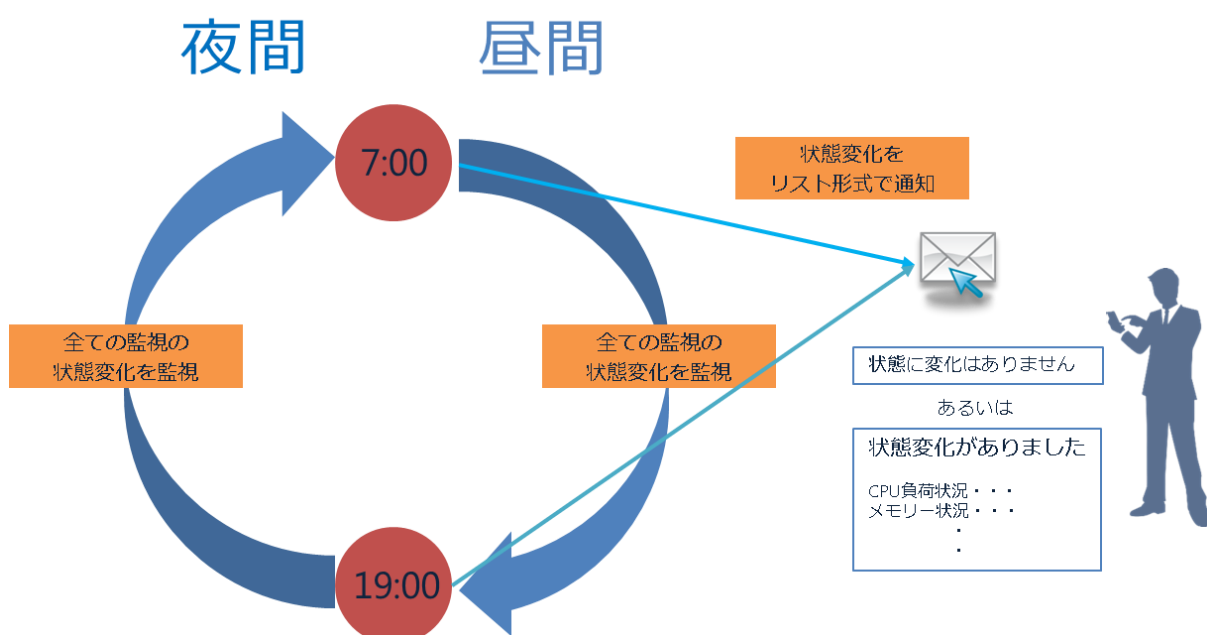
本朝監視を設定すると、定期的にシステムのリソース状態をメールで確認できるようになります。デフォルト設定では朝 7 時に夜間のシステム状態の変化をメールで知ることができるようになります。(変化がない場合にも通知されます)

また、朝 7 時から 12 時間後の夕刻 19 時には日中のシステム状態が通知されます。この仕組みによってシステム管理者は日に 2 回、システム状態をメールで知ることが可能となります。



第2章 朝監視の仕組み

朝監視は BOM のヒストリー監視と監視項目の定刻スケジュールを組み合わせて構成されています。本監視設定には、朝夕定時のシステム状態の報告に使用する監視項目 (Windows システム監視 Basic テンプレート) が同梱されています。この監視項目は、追加設定や削除等お客様のシステム監視用途に応じたカスタマイズが可能です。朝監視の監視項目は、朝監視項目以外の監視項目の監視結果を検知します。朝監視の監視項目さえあれば、他のどの監視項目と組み合わせても朝監視は可能ですので、現在ご検討中の監視設定と組み合わせご使用いただけます。本書の例では、デフォルト設定の Windows システム監視 Basic を例として朝監視を行います。



第3章 監視設定

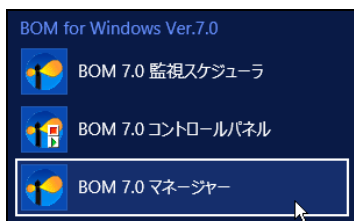
3.1 “朝監視”設定の読み込み

“朝監視”の監視設定を読み込みます。

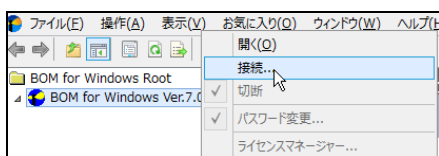
なお、作業にあたっては管理者権限が必要となりますので、管理者権限を持つアカウントにてログオンの上、作業を行ってください。

“朝監視”の監視設定をBOM7.0のマネージャーで読み込みます。以下の手順に沿って作業してください。

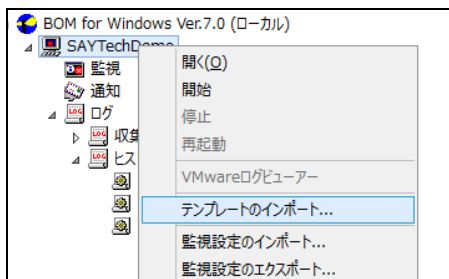
1. スタートメニューより、“BOM”→“BOM for Windows Ver.7.0”→“BOM 7.0 マネージャー”を選択します



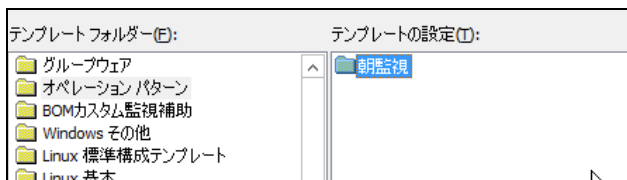
2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します。



3. スcopeペインより“BOM for Windows Ver.7.0 (ローカル)”を右クリック → “テンプレートのインポート”を選択します。



4. “テンプレートのインポート”画面にて“オペレーション パターン”→“朝監視”を選択し、[インポート]ボタンをクリックします。



5. スコープペインにて“監視”をクリックすると“朝監視”の監視設定が読み込まれたことが確認できます。



3.2 メール通知の設定

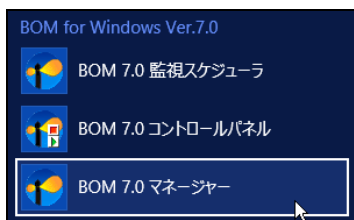
前項で読み込んだ監視設定にはメール通知があらかじめ設定されています。メール通知にはメールサーバーの設定と通知先の設定が必要です。お客様の環境のメールサーバーに応じて設定していただく必要があります。以下の手順に沿って作業してください。

なお、作業にあたっては管理者権限が必要となりますので、管理者権限を持つアカウントにてログオンの上、作業を行ってください。

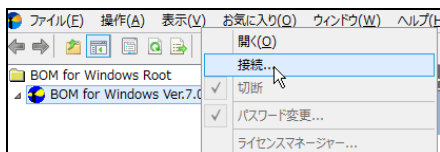
※ 以降の手順は必要な作業項目の概要のみを抽出した概略手順となります。

詳細な手順については、‘BOM for Windows Ver.7.0 ユーザーズ マニュアル’をご参照ください。

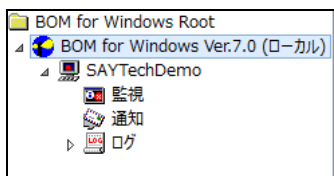
1. スタートメニューより、“BOM”→“BOM for Windows Ver.7.0”→“BOM 7.0 マネージャー”を選択します。



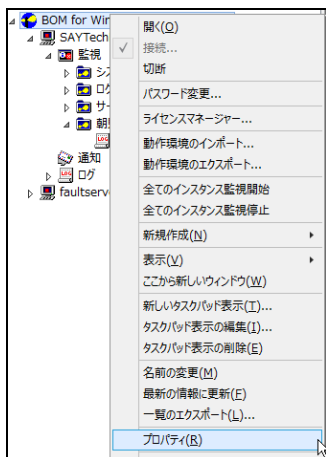
2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します。



3. スコープペインより“BOM for Windows Ver.7.0 (ローカル)” を右クリックします。

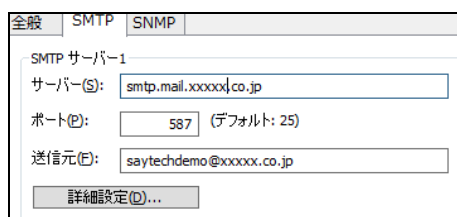


4. 右クリックメニューから“プロパティ”を選択します。



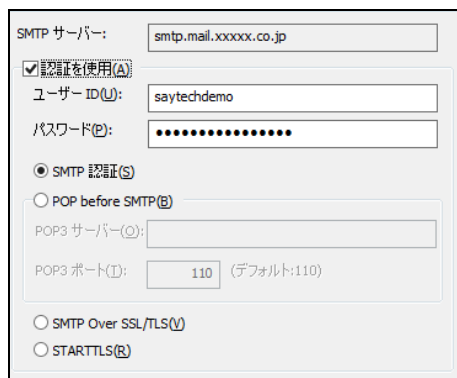
5. 「SMTP」タブを選択します。

“SMTP サーバー1”に“サーバー”、“ポート”、“送信元”を設定します。

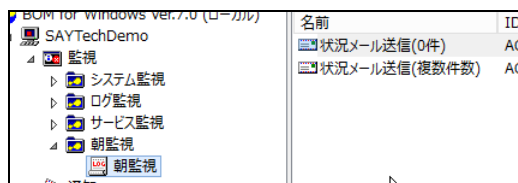


6. [詳細設定]ボタンをクリックし、認証設定を行います。お客様利用のメールサーバーに応じて認証方式を選択し、設定してください。

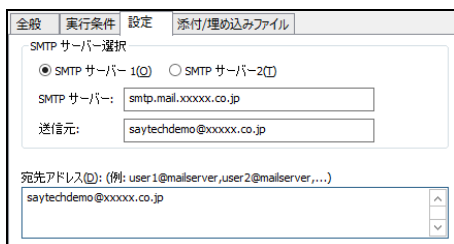
[OK]ボタンをクリックし、プロパティを閉じます。



7. “BOM for Windows Ver.7.0 (ローカル)” → “インスタンス名” → “監視” → “朝監視” → “朝監視”を選択し、リザルトペインの“状況メール送信(0 件)”をダブルクリックします。



8. 「設定」タブの“宛先アドレス”を設定します。

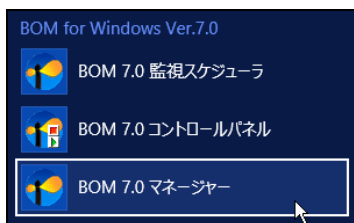


9. 上記 7., 8.の手順により、“状況メール送信(複数件数)”も同様に設定します。

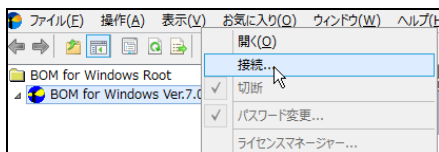
3.3 朝監視通知時刻の設定

朝監視の通知時刻を設定します。朝監視は12時間間隔で監視を行います。デフォルト設定では“開始時刻”は19:00に設定されています。通知時刻を8:00に変更するには“指定時刻”の設定を19:00から20:00に変更する必要があります。通知時刻の変更は以下の手順にて行えます。なお“間隔”などその他設定は変更しないでください。

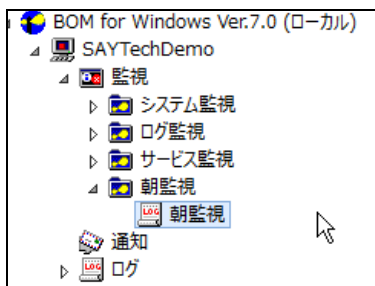
1. スタートメニューより、“BOM”→“BOM for Windows Ver.7.0”→“BOM 7.0 マネージャー”を選択します。



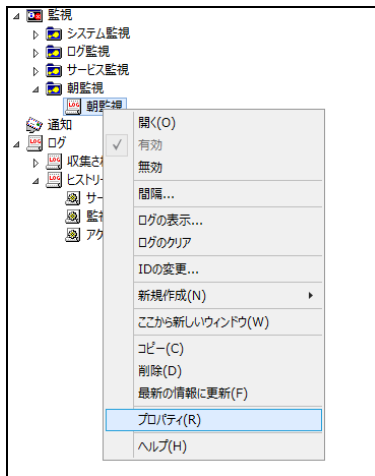
2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します。



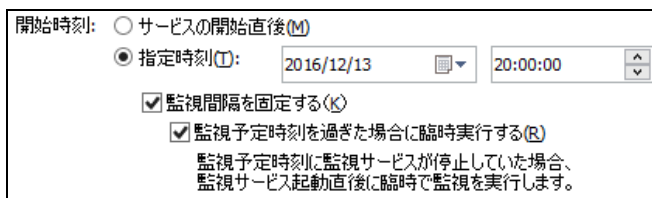
3. スcopeペインより“インスタンス名”→“監視”→“朝監視”→“朝監視”を選択します。



4. “朝監視”を右クリック→“プロパティ”を選択します。



5. 指定時刻を 20:00 に指定して、[OK]ボタンをクリックします。その他の設定は変更しないでください。



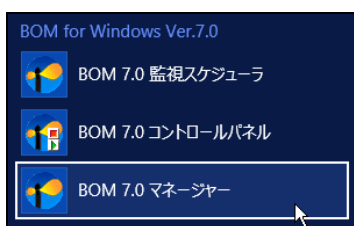
第4章 監視の開始

監視の開始は監視サービスの開始によりはじめます。

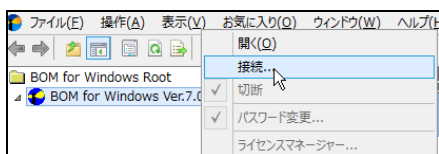
この監視により、指定した時刻になるとシステムの状態変化が通知され、指定時刻から12時間経過するとその間のシステム状態変化が通知されます。一度この監視サービスを開始させると、サービスが停止されるまで12時間ごとに監視対象システムの状態変化を通知し続けます。

4.1 監視開始

1. スタートメニューより、“BOM”→“BOM for Windows Ver.7.0”→“BOM 7.0 マネージャー”を選択します。

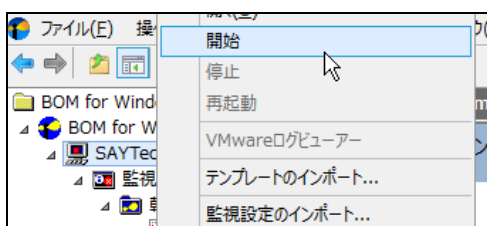


2. BOM マネージャーにて、“接続”をクリックし、監視コンピューターに接続します。



3. スコープペインより“インスタンス名”右クリック→“開始”を選択します。

監視がスタートします



4.2 送られてくるメッセージ

4.2.1 状態変化がない場合

12時間毎の監視時に状態変化がない場合、状態変化がない旨のメール通知が管理者に届きます。

4.2.2 状態変化がある場合

12時間毎の監視時に状態変化がある場合、状態変化があった旨とどの監視項目でどんな変化があったかのリストがメールに添付されて管理者に届きます。

BOM for Windows Ver.7.0

朝監視 設定ガイド

2017年 2月 28日 初版

2021年 4月 1日 改訂版

著者 セイ・テクノロジーズ株式会社

発行者 セイ・テクノロジーズ株式会社

発行 セイ・テクノロジーズ株式会社

バージョン Ver.7.0.40.0

© 2017 SAY Technologies, Inc.
